

第50回

人権交流京都市研究集会

2019年2月23日【土】 午前9時30分～

会場 大谷大学 講堂・各教室

全体会 午前9時30分～ 大谷大学・講堂

分科会 午後1時30分～ 大谷大学・各教室

参加費 2,000円 (昼食代は含まれません)
※事前にお弁当を申し込んで下さい (600円)

*分科会 ①部落と人権 ②共生社会とまちづくり
③教育I ④教育II ⑤部落の歴史

◆全体集会 記念シンポジウム

「水平運動と朝鮮衡平運動 ～東アジアの交流と連帯として今～」

対談



朝治 武
(大阪人権博物館館長)

×

水野直樹
(京都大学名誉教授)



コーディネーター: 駒井忠之
(水平社博物館館長)



1922年3月3日、京都の岡崎の地で全国水平社創立大会がおこなわれ、熱烈な支持と感涙のなかで「宣言」が発せられました。長年差別され抑圧されてきた被差別部落民が、自らの解放のみならず、「人の世の熱と光」を願う宣言はマイノリティによる初めての人権宣言ともいわれています。一方、当時植民地となっていた朝鮮半島にも「白丁(ベクチョン)」と呼ばれる被差別民が存在し、1923年に衡平社(ヒョンピョンサ)を立ち上げ、水平社との交流が生まれました。一昨年「水平社と衡平社国境を越えた被差別民衆連帯の記録」5点がアジア太平洋地域ユネスコ記憶遺産に登録され、その史実に注目があつまっています。

本集会が50回を迎えるにあたり、あらためて「人権」を国内のみならず、東アジアという広い視野で捉え、過去の「遺産」を共有しつつ未来への展望を切り開いて行きたいと思えます。

主催 第50回人権交流京都市研究集会実行委員会

京都市小学校同和教育研究会 京都市立中学校教育研究会人権教育部会 京都市交通局部落問題研究会
京都府庁部落問題研究会 京都市職員部落問題研究会 京都・東九条CANフォーラム
部落解放同盟京都市協議会

後援

京都府 京都府教育委員会 京都市 京都市教育委員会
京都市PTA連絡協議会 京都人権啓発企業連絡会 部落解放同盟京都府連合会